

自民・谷垣氏 国民の怒り見下す

国会前10万人デモ

「かすかに気配」

自民党の谷垣禎一幹事長は 声をまともに受け止めようと16日、戦争法案の委員会強行 しない政権の本音を露呈した採決に抗議して10万人（主催者発表）が参加したとされる 谷垣氏は、今回の国会前デモの反対闘争などを比べ、

「横を通ったりして、かすかに気配を感じていないわけではない」などと感想を述べました。衆院本会議での強行採決後に、国会内で記者団に語りました。

「国民に丁寧に説明していただく」などと繰り返しながら、国民の理解がないままでの採決に抗議して国会に押し寄せた多くの国民の怒りや不安の

声をもとに受け止めようとしない政権の本音を露呈した 谷垣氏は、今回の国会前デモと、かつての安保条約改定の反対闘争などを比べ、「比較的平穏なのではないか」などと見下して、軽んじる姿勢に終始。記者から「世論調査だけでなく、自分の時間を使って反対を表明する人が増えてきている事態だ」と指摘されると、「（安保改定やPKO法制定当時のほうが）抗議する人はもっとたくさんいた」と聞き直りました。